

分野名：ボランティア活動

## 生涯学習を通して地域を支える ～伊良原地区ふれあい大学の事例発表～

みやこ町中央公民館【公立公民館】 館長 荒巻 誠

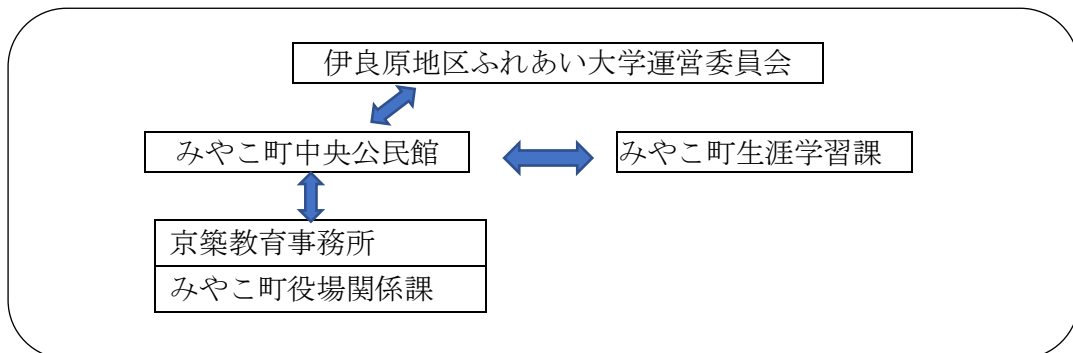
### 1. 事業名

伊良原地区ふれあい大学

### 2. 事業の目的

伊良原地域住民の生涯学習と地域のふれあいの場として共に学ぶことを目的とする。

### 3. 事業の主体



### 4. 連携・協力機関・団体等

後援：みやこ町生涯学習課（みやこ町中央公民館）

協力：京築教育事務所、みやこ町住民課、みやこ町子育て健康支援課

### 5. 実施に至る経緯

今から十数年前、伊良原地区の福寿会で、地域の高齢者が学ぶ場が欲しいと声が上ががり、伊良原地区ふれあい大学が生まれた。

### 6. 現状

ダム建設に伴い人口が減り、受講生も減少。受講生も高齢化した。大学の運営も、以前のように運営委員会が積極的にかかわっていくことが出来なくなっている。また山間部にあるため、大きな病院の通院や買い物が困難な状況にある。

## 7. プログラム作成の視点

伊良原地区は山間部にあり、受講生は高齢化している。また、交通の便もよくないなど様々な問題がある。このような状況の中、住み慣れた地域で、地域の人と触れ合いながら、健康な生活ができるようなプログラムを意識している。

## 8. 事業の内容

### (1) 健康関連

受講生は80代の方が多いため健康づくりを目的とした講座を実施している。

- ①医師から見た地域住民の健康状態の話
- ②認知症予防（脳トレ）
- ③転倒防止体操・フレイル予防



転倒防止体操

### (2) 生活関連

高齢化率が高く、独居の方も多。家族の支援がすぐに得られない状況にあるので、できるだけ自分のことは自分で守る知識を身に着ける。

- ①高齢者を取り巻く消費者詐欺・防犯について
- ②いざという時の救急法



いざという時の救急法

### (3) 行政・人権関連

町長が伊良原地区ふれあい大学の講師となり、みやこ町の行政の問題や施策について話を。人権問題について、毎年、京築教育事務所を講師に迎え人権問題について講座を開く。

- ①町長による行政の話
- ②人権問題



町長による行政の話

### (4) その他

屋外で研修したいと要望があり、視察・研修も行っている。工場、記念館、豪雨災害復旧現場などに行った。

- ①視察研修
- ②地域の歴史文化を知る
- ③音楽の生演奏会

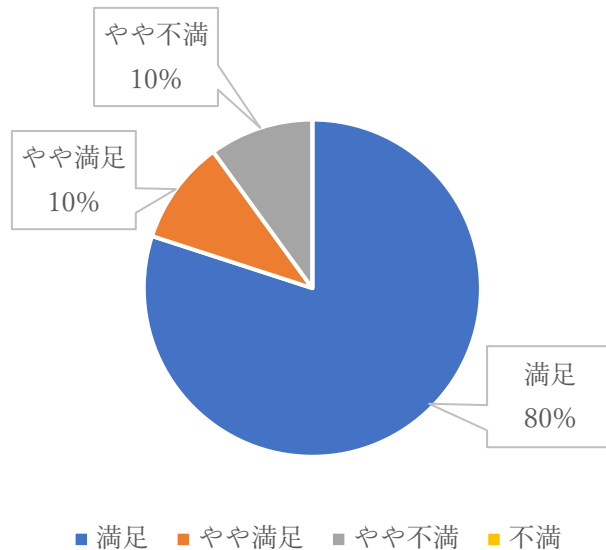


音楽の生演奏会

## 9. 事業の成果

- 講座に関してはアンケートを取っており、満足が多い評価となっている。
- 講座開催日をデイサービスの日に合わせたのでそこからの参加者も増えた。

講座アンケート



## 10. 今後の課題

- 山間部で人口減少、高齢化する中、今後の高齢者大学の運営。
- 大学の活性化のためボランティアの力を。多くの人に関わる。
  - ・一番の課題は、参加者の減少（新規参加者がいない。過疎化、高齢化）
  - ・60代の方は、まだ高齢者ではない意識がある。運営をサポートする側で参加することはできないか。
- 地域を巻き込んだ大学
  - 高齢者大学の枠を超えて地域の集まりの場として、今ある大学を変えることが出来ないか。地域が集まり、学び、地域をつなぐ場として、大学があってもいい。
  - 実現するには、今の運営委員会と町主体の運営から、地域を巻き込んだ活動に変える。そのためには、ごみ出し日に講座を開催、人が集まる行事と同時開催する等、日常生活の行事の中に大学を組み込むなどの取組も必要。
  - 実現には、リーダーと協力するボランティアが必要。

### 問合せ先

みやこ町中央公民館

〒824-0231 京都府みやこ町犀川本庄641-1

TEL 0930-42-1365 FAX 0930-42-2512

E-mail : aramaki-m051@town.miyako.lg.jp